

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	間伐等森林整備促進対策事業	会計	一般会計	事業No.	420	施策順No.	11-026	
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-2-2-26-5			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	林務課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	17	終了	25

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	民有林						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	木材の搬出のコスト削減や搬出間伐等の森林整備を促進させると同時に間伐材の利活用を推進する。							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
		間伐が必要な区域の森林面積(ha)		3333	3333	3333			
		高性能林業機械による搬出間伐材生産量(m3/年)	300	100	0	1000	1000	300	A
		搬出間伐による集材の間伐材生産性(m3/人)	30	15	0	10	10	30	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	十分な成果があり、目標を達成できた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	森林整備事業者が木材(間伐材)搬出や林内作業を効率的に行うため、新たに高性能林業機械を導入することの支援を行い、間伐材の搬出に伴うコスト軽減と生産性の向上を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>林業機械導入事業補助金 事業主体: 南信州森林事業協同組合 導入機種: ユニック付トラック 11t積 1台 事業費: 9,778千円(補助金 国4/10以内)</p> <p>事業主体: 飯伊森林組合(事業主体直接申請分) 導入機種: 移動式大型チップパー 1台 事業費: 15,619千円(補助金 国4/10以内)</p>	高性能林業機械導入台数	2台
23年度実施計画	<p>林業機械導入事業補助金 事業主体: 南信州森林事業協同組合 導入機種: ユニック付トラック 11t積 1台 事業費: 9,778千円(補助金 国4/10以内)</p>	高性能林業機械導入台数	1台

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)強い林業、木材産業づくり交付金(国10/10)
	国庫支出金					
	県支出金		3,700	3,699	3,700	
	起債					
	その他					
一般財源						
	計(A)		3,700	3,699	3,700	
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			0		
	トータルコスト A+B			3,699		

4 事業に対する市民や議会の意見

市民、議会から森林の手入れと同時に地域産材の活用は重要であるという認識があり、また、林業関係者および森林所有者からの木材利用の助成制度等の要望が強い。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	林業生産額(億円)
				経済的自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	間伐の必要な森林整備を実施するための指標として活用でき、また導入する機械においての搬出量を明確にすることができた。		
	後期に向けた課題	前期4年間と同様に間伐材の搬出量を指標とすることで、導入事業体に対する木材搬出量確保に対し強い指導を図る。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	林業機械導入に当たり、導入事業体に搬出間伐量の確保が義務化されていることを説明し理解を求めた。		
	後期に向けた課題	前期4年間で同様に、林業機械導入に当たり、導入事業体に搬出間伐量の確保が義務化されていることを説明し理解を求める。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	国庫補助金の間接補助となるため、導入事業体の使いやすい林業機械を選定されてしまうため、一概にコスト削減は難しかった。		
	後期に向けた課題	林業機械は生産台数も少なく、販売代理店契約を締結している販売店が多いため、同等性能という判断が難しい、またメーカーごとに使い勝手に違いがあり導入事業体に対し安い機械の導入を図ってもらうよう協議する。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者負担は導入補助金により大幅に顕現されるとともに、市の関与は適切である。		
	後期に向けた課題	受益者負担は導入補助金により大幅に顕現されるとともに、市の関与は適切である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけを してきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	市内の民有林整備に必要な不可欠な林業機械の導入が図られ、搬出材のコスト削減につながった。		
	後期に向けた課題	民有林整備に必要な不可欠な近業機械導入に対し、市は積極的に働きかけを行う必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	木材価格の低迷により、林業事業体の業績は全体的に悪いが、概ね計画に沿って事業実施が計られた。		
	後期に向けた課題	計画されている共同製材工場の主力製品の位置づけに伴い、必要な材木が決定されるため、飯伊森林組合との連絡調整を密にし、必要な林業機械の導入を促す必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------